

フェリーで行く世界自然遺産の船旅をPR ー奄美大島・徳之島をデザインしたサイダーを配布ー

鹿児島県旅客船協会（会長：有村和晃・マルエーフェリー(株)社長）は、奄美の島々を結ぶフェリーの利用促進のために、2021年10月25日（月）より「鹿児島～奄美群島～沖縄航路」の利用者に、今年の7月に世界自然遺産に登録された「奄美大島・徳之島」のそれぞれの魅力をデザインしたサイダーを配布します。



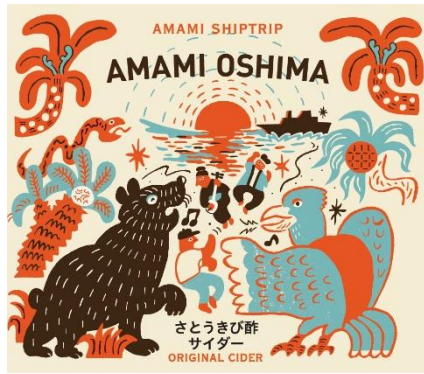
【オリジナルサイダー配布の経緯について】

今年7月に、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産へ登録されたことを記念して、「奄美大島」、「徳之島」、「沖縄本島」を結ぶ「鹿児島～奄美群島～沖縄航路」のPR及び利用促進を目的に企画しました。世界自然遺産の島「奄美大島・徳之島」にゆかりのある2人のイラストレーターが各島の魅力をデザインしたオリジナルラベルのサイダーを、マリックスライン(株)及びマルエーフェリー(株)、奄美海運(株)が運航するフェリーに、鹿児島新港・鹿児島本港（北ふ頭）・名瀬港・那覇港から乗船し、本協会のSNS公式アカウントをフォローしている方へプレゼントします。

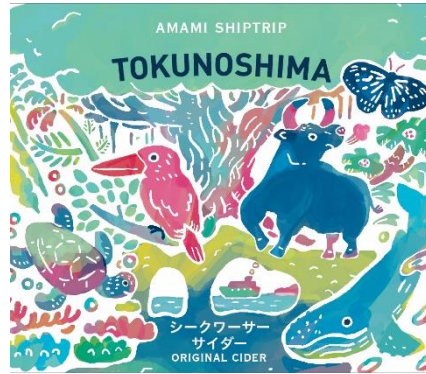
サイダーは、奄美大島編「さとうきび酢サイダー」と徳之島編「シークワサーサイダー」の2種類（配布予定本数9,000本：各種4,500本ずつ）を予定しています。

2021年10月25日（月）よりお一人様1本を配布します。

（※幼児は対象外 ※デザインは選べません。 ※配布は、在庫数がなくなり次第終了します。）



【奄美大島 編のラベルデザイン】



【徳之島 編のラベルデザイン】

【ラベルイラストの解説／イラストレーターについて】

●奄美大島 編

島固有の動植物や島民の文化が一体に 奄美大島の多様な魅力を表現

世界自然遺産登録の島「奄美大島」をイメージしたラベルデザイン。アマミノクロウサギやリリカケスなどの動物や、ソテツやヒカゲゴなどの植物などと、島民が楽しく踊っている一体感を表現しています。大浜海岸の夕陽に浮かぶフェリーがシルエットとして描かれています。

〈イラストレーター〉 尚味（なおみ）さん

大阪府出身で奄美市在住のイラストレーター。アパレルブランドのグラフィックや、地域のパンフレットなどこれまでも奄美大島の自然や動物をモチーフにした多くの作品を手掛けています。

●徳之島 編

徳之島の豊かな海や森を背景に 島の個性的な動植物が躍動

世界自然遺産登録の島「徳之島」をイメージしたラベルデザイン。ラベル中央にはアカショウビンと闘牛、周囲には海の生物を描いています。中央奥には、ガジュマルの巨木がそびえ、島の代表的な景勝地「犬の門蓋」の眼鏡岩の中には、海に浮かぶフェリーが見えています。

〈イラストレーター〉 竹添星児さん

2021年3月まで5年間、徳之島を拠点に活躍。温かみのある色使いと線の特徴として、県内外問わず多くの作品を手掛けています。

【鹿児島県旅客船協会よりコメント】

「世界自然遺産の奄美大島、徳之島、沖縄への船旅を楽しんでほしい。今回のサイダー配布を通じて、世界遺産の島々を結ぶ奄美航路の魅力を、より多くの方々に知ってもらえる機会としたい。」